



南関中スピリッツ

「自分の限界に挑戦！チャレンジ南関中」

R3年度南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

NO. 20 (文責 永杉尚久)

学校評価より

保護者の皆様には、ご多用な中に回答いただきましてありがとうございます。現在、集計を行い分析及び今後の方策等を検討している段階です。整理ができましたらお子さんを通じてお知らせいたします。

お寄せいただいた情報の中で、早めにお知らせしておくべき内容が2点ありましたので学校だよりにてお伝えいたします。

①通学路の安全について

中山の三叉路交差点（一小校区）の工事があっております。生徒たちは自転車で通行していますが、歩道に敷いてある鉄板が滑りやすく危険との連絡がありました。早速確認し、教育委員会に連絡して対応をお願いしました。建設課より工事会社に話していただき、現在は凹凸の付いたラバーを敷いてあります。

学校でも21日に関係の生徒たちを集めて、事故のないように注意を喚起しました。その後の様子はいかがでしょうか。まだ、改善の余地があるようでしたら学校にご連絡ください。

なお、この他にも通学路において危険箇所はいくつもあげられています。緊急性のあるものから順次改善をお願いしています。ただ、学校で把握できていないものもあるかと思えます。随時、お知らせいただければありがたいです。

②学校に行けない生徒の増加について

登校が難しい生徒が増えていることを心配される声がありました。これまで学校の様子をお伝えできていなかったことをお詫びいたします。

2月25日現在で4月から30日以上欠席がある生徒が17名います。この中には、現在は改善傾向にあり、登校ができていない生徒も含まれていますので全部が毎日休んでいるわけではありません。しかし、欠席する生徒が多いのは事実です。

学校として次のような対応を行っています。

まず、担任を中心として家庭訪問や電話での連絡を重ね、必要に応じて個別の面談を行っています。併せて、生徒が登校した時に温かく迎える学級の雰

囲気づくりも気を配っています。

学校全体としては、養護教諭や心の教室相談員、スクールカウンセラー（SC）による本人や家族の面談。スクールソーシャルワーカー（SSW）の家庭訪問や関係機関（医療・福祉部局）との連携があります。

さらに、教育委員会より適応指導教室「陽だまりルーム」が校内に設置され対応を行っています。

この他にも民間のフリースクール等に通う生徒もおり、定期的に情報交換を行っています。（南関町にも「まなびば」という相談機関ができました。詳細は裏面に）

現在、可能な限りの手立てを取っていませんが現状をみるとまだまだ充分ではありません。

学校に行けない理由は多岐にわたり、一人一人違います。生徒や保護者の皆様と相談を繰り返しながら思いに寄り添い、原因を探り、解決策を考え取り組んでいます。南関中生178名が安心して過ごせる居場所となるよう、学校を見直していきます。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひします。

最後に、最近目にした本で参考になればと思い、ご紹介いたします。

『トラウマ返し』 小野 修 著

『学校に行きたくない』と子どもが言ったとき親ができること』 石井 志昂 著

2冊とも南関町の図書館にあります。本校でも今後図書室に揃える準備を行っています。

南関中生の輝き

〈南関町読書感想画コンクール〉

- 優秀賞 最上玲愛③
坂本一哉②
大佐古 凜①
- 優良賞 中島維吹③
平山千愛②
秋原励威①

